

早期の緩和ケア介入でQOLが改善
医師の専門化が患者を苦しめる!?



小杉和博氏

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院
緩和医療科医師

緩和ケアの周知はがん対策基本法の施行により広がったが、課題は多い。国立がん研究センター東病院で緩和医療に取り組む小杉和博氏は、医療者側の意識の変化で終末期への患者への対応がより重厚になるのではと投げかける。

取材●田川丈二郎